

# ● 主な感染症 ●

感染症		主な症状	感染経路	潜伏期間	出席停止期間	
第二種	インフルエンザ	高熱・頭痛・悪寒・筋肉痛・全身倦怠感 のどの痛み・鼻水・鼻づまり 嘔吐・下痢・腹痛	飛沫・接触	2日	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した 後2日（幼児にあっては3日）を経過するま で	
	百日咳	連続して止まらない咳（特に夜） 発熱することは少ない	飛沫・接触	7～10日	特有の咳が消失するまで または、5日間の適正な抗菌性物質製剤 による治療が終了するまで	
	麻疹 （はしか）	目の充血・目やに・涙・くしゃみ・鼻水・発熱 一旦解熱しかけた後、発疹が現れる コプリック斑（頬の内側にできる白い斑点）	空気・飛沫	8～12日	解熱した後3日を経過するまで	
	風疹 （三日ばしか）	中程度の発熱・発疹 頸部・耳の後ろのリンパ節の腫れと痛み	飛沫・接触	16～18日	発疹が消えるまで	
	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発熱・耳の下からあごにかけての腫れと痛み （腫れは左右対称とは限らない）	飛沫・接触	16～18日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現後 5日を経過し、かつ、全身状態が良好になる まで	
	水痘 （みずぼうそう）	発熱（軽～中程度） 発疹→水疱→膿疱→かさぶた（かゆみ・痛み）	接触（水疱） 飛沫・空気	14～16日	すべての発疹が かさぶたになるまで	
	咽頭結膜熱 （プール熱）	高熱・のどの痛み・頭痛・食欲不振 頸部リンパ節の腫れと痛み 目やに・結膜の充血・涙・まぶしがる	飛沫・接触 （プール）	2～14日	主要症状が消退した後 2日を経過するまで	
	結核	初期結核の症状 発熱・咳・疲れやすい 食欲不振・顔色が悪い	飛沫・接触 経口	2年以内 （6か月以内）		
	髄膜炎菌性髄膜炎	発熱・頭痛・嘔吐	飛沫・接触	4日以内		
第三種	腸管出血性大腸菌感染症 （O157 など）	激しい腹痛・水様下痢便・血便 溶血性尿毒症症候群 （乏尿・出血傾向・意識障害）	経口・接触	10時間 ～6日		
	流行性角結膜炎	目やに・結膜の充血・まぶたの腫れ・異物感	接触・飛沫	2～14日		
	急性出血性結膜炎	目やに・眼球結膜の出血・充血・まぶたの腫れ 異物感・涙・目やに・角膜びらん	接触・飛沫 経口	1～3日		
	ウィルス性肝炎	発熱・悪寒・食欲不振・悪心・嘔吐・黄疸	経口（A型） 接触（B型）	28日（A型） 90日（B型）	医師において 感染のおそれがないと 認めるまで  （医師の診断に従ってください）	
	手足口病	発熱（1～3日）・口の中、のどに痛み 1～5mmの水疱が手の平・足の裏・口にできる	飛沫・経口 接触	3～6日		
	伝染性紅斑 （りんご病）	頬に蝶が羽を広げたような発疹 かぜ様症状	飛沫	4～14日		
	ヘルパンギーナ	突然の高熱・のどの痛み のど・口の中に発疹→水疱→潰瘍	飛沫・経口 接触	3～6日		
	マイコプラズマ肺炎	発熱・頭痛・しつこい乾咳	飛沫	2～3週間		
	流行性嘔吐下痢症 （感染性胃腸炎）	嘔吐・下痢 白色の下痢便（ロタ）	ノロウイルス	経口・飛沫 接触	12～48時間	
			ロタウイルス		1～3日	
	溶連菌 感染症	猩紅熱	発熱・のどの痛み 舌がイチゴ状に腫れる・全身に発疹	飛沫	2～5日	
		上気道感染症	発熱・のどの腫れや痛み		2～4日	
		伝染性膿痂疹 （とびひ）	水疱→膿疱→かさぶた（かゆみ）	接触	2～10日	
アタマジラミ	丘疹・紅斑・かゆみの強い皮膚炎	接触	10～14日	医師の診断に 従ってください （通常、出席停止の必要は ありません）		
伝染性軟属腫 （水いぼ）	半球状で中心のくぼんだイボ（2～5mm）が できる	接触	2～7週間			

出席停止期間については、病状により医師が感染のおそれがないと認めるときは、上記の限りではありません。